

事業報告書

工組・支部名：北海道電気工事業工業組合・苫小牧電気工事業協同組合青年部

資料提出日：平成31年3月23日

1. 【事業名】 『平成30年度 北海道立苫小牧高等技術専門学院電気工事科インターンシップ事業』

2. 【実施日時】 平成31年2月27日（水）～3月1日（金） 各8:30～17:00

3. 【実施場所】 2/27～3/1 午前（市内組合員9社）、3/1 午後（苫小牧電気会館2F大会議室）

4. 【提言書2016との適合性】 本事業に当てはまる項目番号と提言書ページ数をご記入ください

①人材育成と後継者育成（P.5～） ②組合員の経営安定化の支援（P.12～）

③技術・施工品質の向上と経営能力の向上（P.16～）

④その他（日本列島電気工事組合改造計画 未来へ）

◎項目番号： ⑥

◎提言書ページ： P.24

5. 【事業目的】

- ・次代を担う我々青年部から、これから様々な思いを持って現場に出ようとする学生に対して、電気工事業の魅力を伝え、誇りと夢のある仕事であることを理解してもらいたい。
- ・職業選択の際に、電気工事技術者という職種を選んでいただき、将来の優秀な人材確保へと繋げていきたい。
- ・大都市や大手企業への就職意欲の高い若者に対しては、苫小牧地域の様々な点をアピールして地元定着化を図り、地域や電気工事業界の更なる発展に繋がられる貴重な機会としたい。

6. 【事業内容】 ①市内企業研修及び現場見学（組合員9社に分散）

②映像研修（電気工事業について）

③苫小牧電気工事科OBからの講話

④最新電動工具展示体験会、高所作業車体験試乗（ホットスティック操作）

⑤青年部員との座談会（就職お悩み相談会）

7. 【参加員数】実績：22名

内訳（学生6名、教諭2名、青年部10名、組合員3名、メーカー1名）

8. 【外部協力者】 ㈱パナソニック エコソリューションズ社 柳瀬課長

（展示機材提供、電気工具体験コーナー）

9. 【事業総額】 約30,000円

10. 【事業の成果】

昨年に続き今回で2回目の企画運営となる、苫小牧高等技術専門学院電気工事科1年生対象のインターンシップ事業を、2月27日～3月1日の3日間にて開催しました。

今年は昨年より1名少ない6名の学生を受け入れることとなり、参加企業を6社募ったところ、前回以上の反響で11社からの応募をいただくことができました。業者数を絞るのは大変心苦しいものがありましたが、最終的に9社の加盟企業にご協力をいただくことで事業をスタートしました。

初日から3日目の午前中まで行われた企業研修では、学生2人1組で3社に分かれて、市内の学校新築現場や下水処理施設での機器更新工事等を見学し、現場所長らの説明を聞きながら、生の現場を体感していただきました。

なかでも厚真町の災害復旧現場を見学した学生からは、現場での苦労話を初め、住民から都度感謝をされたという先輩工事士からのお話を聞き、電気のありがたみや電気工事士の存在意義をより一層感じる事ができたと、嬉しい感想をいただくことができました。

最終日となる3日目の午後からは電気会館に全員集合とし、青年部主催による研修会を開催しました。山西副部長によるプロジェクター講習では、胆振東部地震や大規模停電における復旧作業の様子を説明し、地域における我々電気工事業者の必要性について熱弁をしていただきました。続く苫技専OBからの講話では、(株)瀧澤電気工事の乾健治さんから、電気工事士についての魅力や入学から就職までの馴れ初めなど、大変貴重なお話を頂戴することができました。

今回は初の試みとして、パナソニック(株)協賛による電動工具の展示体験会を行い、ケーブルカッターや圧着器など普段は扱う機会の少ない太物ケーブルの加工や端末処理を体験してもらいました。また弱電工事用の最新機器や清掃機器なども展示され、真剣な表情で部員からの操作説明を聞く学生の姿が印象的でした。

また高所作業車体験試乗では、高い所が苦手な学生も多く、笑い悲鳴のなか空からの苫小牧の景色を眺めていただき、ホットスティック操作体験では仮設の架空線を実際に加工するといった、貴重な経験をさせていただけたかと思えます。

2テーブルに分かれての座談会では、社会人経験のある学生も多いため仕事内容や休日・諸手当など生々しい質問や答えが飛び交っていましたが、笑いながらの楽しい場となりました。学生の皆さんには就職に向けた不安の解消に、少しは役立てたかなと感じております。

今回参加をいただいた6名全員が地元管内にて電気工事士としての末永い活躍をしていただけるよう期待を込め、レポートを終えたいと思います。

当事業をもって業界促進委員会の活動は最後となります。2年間に渡り、毎回遅くまで企画・立案にご尽力いただいた委員の皆さんには本当に感謝しております。

また各事業にご協力をいただきました親組合を初めとする加盟企業様や工事士会様、そして青年部のメンバー全員に厚く御礼申し上げます。

皆様からのたくさんのご支援、本当にありがとうございました。

SHIFT TO NEXT ～更なる進化を目指して～

11. 【反省点または工夫した点】

＜反省点＞・開催日程が年度末の繁忙期であった為、技術系の青年部員の参加招集に苦勞した。
そのため昨年末の苫小牧工業高校インターンシップにて行ったような技術研修会の開催が出来ず、工具の操作体験等の簡易なイベントしか実施できなかった点。

＜工夫点＞・出来るだけ多種の電気工事業者や現場で学んでいただくため、受入業者選定や生徒の割り振りに配慮した点。
・高所作業車試乗では、今回初めてホットスティック操作体験を試み、仮設の配電線を実際に加工する体験を導入したところ、生徒や教師から大変好評であった。

12. 【別添資料（写真）】

